

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4572000521		
法人名	特定非営利活動法人 こすもすの里		
事業所名	グループホームこすもす		
所在地	宮崎県児湯郡木城町大字椎木4007番地2		
自己評価作成日	平成29年1月9日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/45/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	一般社団法人 宮崎県介護福祉士会		
所在地	宮崎県宮崎市原町2-22 宮崎県福祉人材センター人材研修館内		
訪問調査日	平成29年2月17日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

誰でも気軽に立ち寄れるように、外門、玄関には施錠していない。
 利用者様の日々の変化や体調に気を付けながら気を配り、関係を大切にしている。
 嚥下機能訓練を目的に食事前に口腔ケア体操を行い、美味しく食事が頂けるよう気を配っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホーム玄関横の日当たりの良い庭の一角には木製の長椅子が置かれ、利用者は思い思いに椅子に腰かけたり、プランターに植えられている野菜や草花に触れながら外気欲を楽しむことが出来る。職員は利用者との日々の関わりの中で本人の声に耳を傾けながら、言葉かけ・会話を大切にされた支援を行っている。ホームには、町の有線放送が受信されており、行事などの情報収集に役立っている。季節の花見や家族遠足、スポーツ大会参加等、町やホームの行事に家族の協力が得られるなど家族との協力関係が築かれている。又、年末には利用者が得意とされる裁縫で初詣用の手拭を作り、近くの神社に奉納して喜ばれている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所理念を共有し実践に向けて取り組んでいる。また、年度当初に職員理念を作り実践できるよう心掛けている。	運営者、職員は地域密着型サービス事業所の社会的役割を認識している。理念について、職員間で話し合いの機会を持ち、法人理念に加えて更に「スタッフ理念」を掲げ、日々の実践に繋げている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	手拭いを縫い近くの神社に奉納している。また、地域の店に買い物に行ったり、行事等に参加して交流できるように努めている。	散歩や買い物時には、地域の人たちと挨拶や会話を交わしている。地域の行事に参加したり、読み聞かせボランティアや児童の来訪など地域の人たちと触れ合う機会が多い。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	利用者様の自立支援を考え、昔からされていたであろう縫い物で貢献できないかと考え、近くの神社への手拭い奉納を始めた。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事業所での生活状況や行事などを報告し、意見を頂いている。「行事をする時など声をかけてくれれば協力しますよ」とご家族からの声も頂き、活かしている。	運営推進会議ではホームの活動状況や利用者の状況の報告を行い、参加メンバーから意見をもらうなど双方向的な会議となるよう配慮している。家族からホームでの行事に協力するとの意見があり、運営に活かしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	2ヶ月に1回の運営推進会議の中で、事業所の現状を伝えている。困難事例が起きた時には、町担当者に連絡を取り、相談し助言を頂いている。	町担当者とは運営推進会議を通じて、日頃から何でも相談できる馴染みの関係を築いている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日中、外門・玄関には施錠せずにケアに取り組んでいる。身体拘束をしないケアに努めている。	運営者及び職員は身体拘束の内容とその弊害を認識している。玄関は施錠をしていない。職員は利用者が外に出なくなる場面や理由を理解し、利用者の安全を確保しつつ、抑圧感の無い生活の支援に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の研修に参加し、周知し、日常での支援の中で注意し、防止に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	一部の職員は理解できているが、全職員に学べる機会を持ちたい。また、今後必要な方には活用できるよう支援していきたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時や改定等の際には十分に説明を行い、理解して頂けるよう努めている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や会議、行事等に参加して頂いた時など出来るだけ、ご家族の方に話しかけ、意見を聞きだせるように努めている。また、利用者様には、お茶の時等に一緒にゆっくり過ごし、話しかけ意見・要望を自然に聞き出すように努めている。	家族には来訪時に何でも言ってもらえるような雰囲気作りに留意している。利用者のかかりつけ医受診時の同行に対する要望を受け、支援に繋げている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議等で意見や要望を聞くように努めている。個々の意見や提案が言えるようにコミュニケーションを取り、職員の声に耳を傾けるよう努めている。。	管理者は日頃から職員が意見を出しやすい雰囲気作りに心掛けている。行事の企画や食事の献立など職員の意見や提案を運営に取り入れている。職員の有給・希望休暇についての配慮がある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	有休や希望休を取るなど、環境整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修する機会を設け、知識や技術を身につけるよう努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県グループホーム連絡協議会に加入し研修や交流会に積極的に参加している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	慣れない環境での不安や戸惑いを表情や会話でくみ取り、安心できるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前に要望等を聞き、面会時等に声をかけ関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人やご家族等の話を聞き、何がいま必要なのか検討するようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	‘共に暮らす’という気持ちを忘れないよう、家事など一緒に取り組んでいる。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会になかなか来れないご家族には便りを出し現況を報告したり、担当者会などに来ていただき声を聞くように努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの美容室、スーパーへの買い物、町内のスポーツ大会、文化祭、町のふるさと祭り等に参加し馴染みの人、場所を忘れないように支援に努めている。	家族の協力により墓参や馴染みの美容室に出向いている。週末や年末年始には自宅に外泊する利用者も居る。町主催のスポーツ大会やふるさと祭りに参加するなど馴染みの関係が途切れないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士できない方の手助けをする関係性があり、その関係性を支える支援に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後、時々遊びに来られ、送迎まですることがある。また、入院先に面会に行ったり、そのご家族からも現況をお聞きし、関係性を大切にしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	お茶の時間や、入浴時の1対1の時を利用して本人の声を聞きできる限り本人の思いに添えるよう努めている。	職員は利用者一人ひとりとの会話を大切にしている。難聴の利用者には筆談で対応するなど、言葉や表情から思いや意向の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人・ご家族・近隣の方々から情報を得ながら、今までの暮らしを知り、支援に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	記録や申し送り等で現状の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当職員がモニタリングを行い、職員会議で話し合い、また、ご本人やご家族に要望等を聞き介護計画を作成している。	介護計画は担当職員との意見交換やモニタリングを行い、3か月毎に見直しを行っている。本人や家族には日頃の関わりの中で思いや意見を聞き、反映させるようにしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に記録を残しており、また、職員会議の中で話し合い情報共有できるよう努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	病院への通院は、ご家族にお願いしているが状況により無理な時には、事業所に対応し通院介助を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	定期的なボランティアの訪問や近隣施設との交流を行い暮らしを楽しむことができるよう支援している。また、ご家族の協力で毎週末外泊が実現できている方もいる。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所前からのかかりつけ医を継続して受診している。また、病状に合わせてご家族に相談しながら専門医(皮膚科・眼科)を受診している。受診時には普段の状況を伝え適切な医療を受けられるよう支援している。	本人や家族が希望するかかりつけ医となっている。受診は家族同行を原則としているが、必要に応じて職員が対応している。「受診ノート」を利用しており、受診結果に関する情報の共有が出来ている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	受診ノートを作成し、訪問看護師に気づきや情報を提供し支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時情報提供を行っている。入院中に面会に行き、病院関係者から状態や治療状況などの確認を行い、ご家族と話し合いを行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者様の状態を確認しながら、早い段階で事業所が出来ることをご家族に説明し話し合いを行っている。希望があれば、看取りを行っている。	「重度化対応・終末期ケア対応指針」を作成している。本人や家族の意向を踏まえ、ホームが対応できるケアについて医師、訪問看護師、職員が連携をとり、安心して納得が得られるよう随時、意思を確認しながら取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルは作成しているが、定期的に訓練が行っていない。私的に行っている職員もいるが事業所として定期的に行っていきたい。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に火災や地震の避難訓練を行っている。地域との協力体制が築けていない。	災害対策マニュアルを整備し、年2回避難訓練を行っている。火災通報装置、避難場所の確保、非常用食料の備蓄がある。地元消防団との連携を図っているが、地域住民との協力、参加が得られていない。	ホームだけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力が得られるよう更なる取り組みを期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	尊厳を傷つけないよう、ちゃん付けで呼ばないよう言葉づかい、言葉かけに努めている。	職員は利用者を年長者として敬意を払い、誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけをしないよう努めている。又、居室入口のドアは覗き窓の無い襖で利用者主体の設えになっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様の話に耳を傾け、自己決定できそうな場面などでは希望に沿うように働きかけている。(例えば、入浴後の着たい衣服を選んでもらう。レクでは何がしたいのか聞く。)		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にして、できる範囲で希望に添えるよう心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2ヶ月に1回の訪問理容を利用し、希望がある方には、ご家族の協力を得、なじみの美容室に行けるよう支援している。手の届くところに櫛を置いたり、肌着が出ていたりしていたらさりげなく支援をし身だしなみに気を付けている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様の状態に応じ食べやすい工夫を行っている。職員も利用者様と一緒に同じ食事を摂り食事が楽しみになるよう努めている。台拭き、食器下膳、食器洗いをしていたき、ねぎらいの言葉かけを忘れないよう心掛けている。	89歳・女性利用者の誕生日で、本人の好みの献立により「チラン寿司」が提供され、他の利用者も大変喜ばれ職員を交えての楽しい食事である。台拭き、箸配り、下膳の手伝いなど利用者の楽しみを支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	チェック表を準備し、食事・水分の摂取量を記録して把握するようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケア、毎晩義歯洗浄消毒を行っている。自分で出来ない方には介助を行い衛生状態を保つように努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個別に排泄チェック表を付け、排泄パターンの把握を行っている。オムツの使用を減らすため、一部の利用者様には日中、布パンツ使用し、声掛けを行いトイレでの排泄ができるよう支援している。	日中はできるだけ布パンツを使用できるように、排泄チェック表を利用し、本人の生活リズムに沿った習慣や排泄パターンに応じた排泄支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝食前に牛乳、昼食時にはバナナ入りヨーグルトを提供している。また、体操も取り入れ予防に取り組んでいる。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴日や時間は決まっているが、体調や気分に応じて入浴できるように努めている。季節によって柚子湯を取り入れている。毎週月・火曜日に入浴剤を入れ楽しめるようにしている。	入浴日の設定はしているが、無理強いすることなく本人の体調や希望に合わせてくつろいだり気分よく入浴できるように支援している。入浴剤を利用して温泉気分を味わってもらうなどの工夫をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	自宅から寝具を持ち込んでいただき安心してできるようにしている。また、状況に応じ休息される方もいる。室温や寝具などにも注意している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の管理箱に薬名、薬効等を記載している。薬の管理ファイルを作成し理解に努め、薬の変更等がある場合は分かるように記録している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活の中で役割を見つけ張り合いのある生活を持ってもらえるよう支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常的にはできないが外出支援ができるよう計画している。天気の良い時には、散歩やドライブに出かけたりしている。また、ご家族の協力を得、遠足や地域の行事等に参加したりしている。	日当たりの良い玄関横の庭には木製の長椅子が置かれ、プランター栽培の野菜や花などに触れながら戸外で気持ちよく過ごせる配慮がある。園庭での焼き芋会、近隣の散歩、外食や「ふるさと祭り」の参加、ドライブなど家族の協力を得ながら外出を支援している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人ひとりが金銭管理するのは難しいが、外出した時や病院受診した際など出来る方には自分で払えるように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば電話をしたりしている。また、行事等の招待状を書いたりしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	室内の光・温度・テレビの音には気を付けている。作品や写真を貼ったりし、また、季節の花等を飾ったりし、居心地良く過ごせるように心がけている。	食堂を兼ねた居間には雛壇が飾られ季節感がある。利用者が見やすい位置に大きめの時計やカレンダーが掲示されている。居間の一角にはゆったりと座れるソファが置かれ、気の合った利用者同士が隣席するなど安心できる場所としての配慮がある。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	独りになることで不安に感じられる方もおり、思い思いの場所で過ごせるよう、ソファを置いている。TVを見たり、会話をしたりして過ごされている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの物や使い慣れた物をとご家族には相談している。居室にはご家族等との写真などを飾ったり、手作りカレンダーを毎月貼り替えている。	居室のドアは温かみのある襖の設えになっており、利用者のプライバシーを大切に配慮がある。室内には寝具や家族の写真、思い出の品々などが持ち込まれ、本人が落ち着いて過ごせる工夫がある。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりを設置したり、トイレや浴室等が分かるようまた、自分の部屋と分かるよう同じ形の名札にせず、名札を下げたり写真を貼ったりしている。		